

名古屋市会 8 月定例会 最終日

弥富相生山線の環境影響評価を求める請願 田口一登議員が採択求めて本会議で討論

8月定例会は9月8日に閉会しました。最終日の本会議で、田口一登議員が、市民団体から提出された「弥富相生山線工事再開のための自然環境・生活環境への環境影響評価を行い、市民の意向を確かめることを求める」請願の審査打ち切りに対し、反対する立場から討論を行ないました。討論時間はわずか2分間。その内容を紹介します。

騒音は環境基準を超過

(弥富相生山線の環境への影響について)緑政土木局は、「環境アセスメントにおける手法に沿って予測・評価をしている」といいますが、自動車騒音の予測については、環境アセスにおいて評価基準とされている環境基準を超過しているにもかかわらず、それよりも基準が緩い要請限度を持ち出して、それを超過していないという恣意的な評価を行っています。ですから、天白区の地域環境審議会からも、環境基準ではなく要請限度に基づいて評価した理由の説明を求める要望書が、広沢市長宛てに提出されたのであります。

天白区地域環境審議会から要望書

さらに、天白区地域環境審議会の要望書では、「車両走行に伴い、騒音及び振動が生態系にどのような影響を及ぼすのか」など不足しているデータの提出も求めています。ヒメボタルなど生態系に及ぼす影響について当局は、橋りょう構造の採用などによって、「影響を軽減することができる」と説明していますが、その根拠は示されておらず、希望的観測にすぎま

弥富相生山線の騒音の影響予測

予測値	単位: dB			
	東行		西行	
	昼間	夜間	昼間	夜間
市の予測値	71	65	68	62
要請限度 (市の説明資料)	<75 OK	<70 OK	<75 OK	<70 OK
環境基準	>65 NG	>60 NG	>65 NG	>60 NG

(注)環境基準はB地域(第二種住居地域)と仮定。「幹線交通を担う道路」と仮定しても、環境基準は昼間70dB以下、夜間65dB以下なので、東行の昼間では環境基準を超過している。

- ◆要請限度とは…自動車騒音がその限度を超過していることにより、道路の周辺的生活環境が著しく損なわれていると認められるときに、市長村長が県公安委員会に道路交通法の規定による措置を執るよう要請する際の限度をいう。
- ◆環境基準とは…環境上の条件として人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準。環境影響評価(アセスメント)で評価基準とされている。

せん。

これまでの当局による影響評価は明らかに説明不足であり、厳密な環境影響評価を行い、市民に説明し、意見を聞くことが必要であります。以上から、本請願の採択を求めます。

本会議では共産党市議団(3人)と1人会派の新生会の議員が反対しましたが、請願は審査打ち切りになりました。

